



原理原則をいまいちど! おさらい企画

# クリーン車内の鉄壁セオリー

菌&ウイルス対策を実践しているドライバーは多いはずだが、その方法論に自信を持っているだろうか。もしも少しでも不安があるのなら、花粉シーズンの本格到来を目前にしている今、作法をおさらいしておこう。概論から具体的処方までを、要点を整理してお伝えしていく。

## はじめに

まずは、花粉・菌・ウイルス対策の基本セオリーを解説する。最初にこれらが何でどのような特徴を持つのかを説明し、その上でクリーン化の方法論を順を追って解説していく。車内を清潔に保つことへの感度の高いドライバー諸氏は、要熟読!

## 敵を知り、適切な対策法を実践!

### 大切なのは侵入の防止と定期的&恒常的な清潔化!

まずは敵を知ろう。花粉、菌、ウイルスは特徴が異なる。異なるポイントには4つある。大きさ、構造、増殖の仕方、そして居場所だ。

もっとも大きいのは花粉だ。スギやヒノキの花粉は直径30〜40μm(マイクとメートル)で、黄砂は約4μm、PM2.5は2.5μm以下だ(1μmは1mmの約1/1000)。次いで菌は大体1〜10μm、さらにウイルスはその1/1000〜1/10000くらいだ。ウイルスはかなり小さい。

続いて構造だが、まず前提として花粉は物質で菌とウイルスは生物だ。で、菌は一般的に生物の基本単位である細胞構造をしていて、ウイルスは細胞構造は有していない。ゆえに増殖の仕方も異なる。菌は適切な環境と栄養と水があれば自律増殖するがウイルスは細胞分裂に必要な成分を作る仕組みがないので自律増殖できない。そのかわり人の細胞の中に侵入して増殖する(人の細胞内以外では長く生きられない)。

そしてそれぞれの居場所は以下のとおりだ。花粉は空気中に飛んでいる。

菌もさまざまなところに生息していてホコリやチリに付着して空気中にも浮遊する。またひとたび車内に入ると、水と汚れがあれば汚れを栄養として増殖する。一方ウイルスは屋外の空気中に飛んでいることを心配する必要はほぼない。感染している人の飛沫等の中に多くいる。

これらを踏まえると思うべき対策が見えてくる。まずは車外からの花粉や菌の侵入を防ぐことが肝要だ。それを可能とするのはエアコンフィルターだ。菌の大きさである1μm以上の物質をブロックできるものを使うと安心だ。そして定期的に交換し性能の維持に努めよう。

次いで、車内を清潔に保つことも重要だ。車内に侵入した菌を増殖させるべきではなく、ウイルス対策として手で触れる箇所は常にキレイにしておきたい。

なお、乗り降りするときにも花粉や菌は侵入する。また同乗者がいる場合は特にウイルス対策としても、空間も清潔であるべきだ。となると空気清浄機が役に立つ。

以上が概論だ。さて、具体的にはどうするべきか。実践法は次ページにて説明していく。